

# ふるさと 資料紹介

＝⑦⑥＝

現の記述が多くみられますが、  
荘の範囲はかなり広く、現在の  
川辺町や八百津町の一部までも  
が含まれていました。「信友」  
「則光」「為岡」などの地名は、  
当時の名田の名残りかもしれま  
せん。

今回は、次の人から貴重な資  
料を寄贈していただきました。  
ありがとうございます。

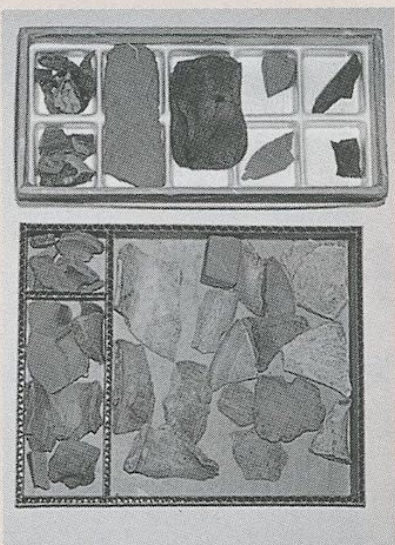
(平成九年九月分)

○キセルなど

(水野はな子さん／下古井)

○考古資料約三〇〇点(左写真)

(近藤絵さん／加茂川町)




○ボッコ靴

(岩下唯三郎さん／太田町)

○ひな人形二点

(堀部正さん／蜂屋町)

計画中の博物館建設のため、  
いろいろな資料を収集していま  
す。文化課(文化会館内／内  
四〇八)まで、情報をお寄せく  
ださい。

## 史料と地名からみた 地区の歴史31

### 下米田(一)

一〇世紀初めに編さんされた  
書物『和名抄』に、米田郷、志  
麻郷の地名が載っています。米  
田郷は、現在の下米田町(小山  
を除く)から川辺町上米田あた  
り、志麻郷は小山と牧野あたり  
と推定されます。また、一一か  
ら一二世紀にかけての貴族藤原  
宗忠の日記『中右記』に、承德  
元(一一〇九七)年に「美乃国米  
田庄住人」と出てくることから、  
このころには「米田荘」という  
荘園があったことがわかります。  
さらに室町時代の古文書には、  
「米田庄」や「米田嶋」という表